

不良・手直し、事故を未然に防ぐ仕組みづくり ヒューマンエラー・ポカミス対策講座

研修のねらい

ヒューマンエラーやポカミスは、製品・サービスの品質低下や手戻りを発生させ、生産性低下を招くだけでなく、時には重大な事故に繋がることもあります。安全で高効率な職場環境を整えるためには、ヒューマンエラーを抑制する仕組みづくりが必要不可欠であると言えます。

本研修ではヒューマンエラーやポカミスが発生する要因を理解し、その対策と生産性向上を両立する方法を学びます。また、実際に自社の課題を抽出し、職場を改善するためのアクションプランを作成します。

研修期間

2027年 **2/2**火 ~ **2/4**木
(3日間 21時間)

対象者

経営幹部、管理者

- ・ヒューマンエラーに悩む企業の方
- ・ヒューマンエラー対策を考えたい方
- ・業種は問いません

定員 **25**名

受講料 **32,000**円(税込)

会場

中小企業大学校 旭川校

旭川市緑が丘東3条2丁目2番1号

研修のポイント

- ✓ 組織全体でヒューマンエラー対策に取り組む方法を学びます。
- ✓ ポカミスを防ぎながら、効率を上げる作業の改善方法を学びます。
- ✓ 自社のヒューマンエラー・ポカミス対策のアクションプランを作成します。

月 日	時間	科目	内容
2/2 火	10:20 ~ 10:30	開講式・オリエンテーション	
	10:30 ~ 12:00	ヒューマンエラーが会社に及ぼす大きな影響	ヒューマンエラーの発生要因を理解した上で、ヒューマンエラーが大きな災害につながる事を理解し、会社に及ぼす影響を確認します。 ◆ ヒューマンエラーとは ◆ ヒューマンエラーを引き起こす4つの要因 ◆ ヒューマンエラーが会社に及ぼす影響
	13:00 ~ 14:00		
	14:00 ~ 18:30	組織で取り組むヒューマンエラー対策	ヒューマンエラーの人的要因を掘り下げ、作業者のスキルや人間の特性に注視して、ヒューマンエラーを発生させないようにしていく組織風土の構築を考えます。 ◆ ヒューマンエラーが起こる人的要因 ◆ 人的要因によるエラーをなくしていくための、組織での行動原則 ◆ 【演習】ヒューマンエラーを防止する組織対策を考える
	18:45 ~ 20:15	交流会	受講者同士の懇親を深めます。
2/3 水	9:00 ~ 12:00	ヒューマンエラー発生の構造解析と安全対策	作業現場でヒューマンエラーにより製品不良や損失を生じること(ポカミス)について、発生構造の解析手法を理解し、事故やヒューマンエラーを防止する安全対策を考えます。 ◆ 事故やヒューマンエラーの構造を理解する ◆ 事故やヒューマンエラーを防ぐ安全技術 ◆ 【演習】自社事例のFAT解析と安全技術適用の検討
	13:00 ~ 14:00		
	14:00 ~ 18:00	生産効率アップとヒューマンエラー防止の両立	ムリ、ムダ、ムラを省く視点での、作業動作や手順の改善及び作業環境の整理、整頓、清掃等の実施により、作業効率のアップとポカミス防止を両立することを検討します。 ◆ ムリ、ムダ、ムラを省く人間工学的な対策、動作経済の原則 ◆ 作業手順書、作業の標準化 ◆ 5S(3S)と目で見る管理 ◆ 【演習】自社のムリ、ムダ、ムラを省く対策の検討
2/4 木	9:00 ~ 12:00	ヒューマンエラーを防止する職場組織の活動	事故・ヒューマンエラーを防ぐために職場で行う、安全衛生パトロール等の管理的な組織活動について確認します。 ◆ 安全衛生パトロール ◆ その他の管理的な職場での自主活動
	13:00 ~ 16:00	自社のヒューマンエラー&ポカミス対策の検討(演習)	研修での学びを踏まえて、自社のヒューマンエラー対策を検討します。 ◆ 職場の問題点の洗い出し ◆ 自社での課題の抽出 ◆ ヒューマンエラー&ポカミス対策のアクションプラン作成
	16:00 ~ 16:20	終講式	

※研修内容・日程等は変更になる可能性がありますので予めご了承ください。

講師紹介(敬称略)



合同会社サカタ経営
代表社員

坂田 卓也(さかた たくや)

大日本印刷株式会社の生産総合研究所やエリーパワー株式会社の生産技術部を経て、経営コンサルタントとして独立し、現在の合同会社サカタ経営を設立。経営工学(IE)を活用した生産性の改善、品質管理(QC)や品質改善、新工場計画、生産ラインの自動化などの支援を行っている。支援実績は印刷関連、金属加工、食品加工、繊維と多岐にわたる業界の実績がある。中小企業診断士、技術士(機械部門)、エネルギー管理士(熱部門)、第3種電気主任技術者等を保有。

